

# 佐鳴台地区社協ニュース NO.12

## —佐鳴台地区社協アンケート結果—

現在、全佐鳴台の皆様のお宅に、昨年8月に佐鳴台地区社会福祉協議会が実施しましたアンケートの結果が回覧されております。内容は、皆様からのコメント文の掲載と、それらのご意見を集約したグラフの二部から成っておりますが、回覧のため、内容をじっくり読む時間が無い方々のために、ここに原文を掲載致しますので、ご一読下さい。  
(H18.03 編集子)

## 2006. 2. 17. 佐鳴台地区社協アンケート結果

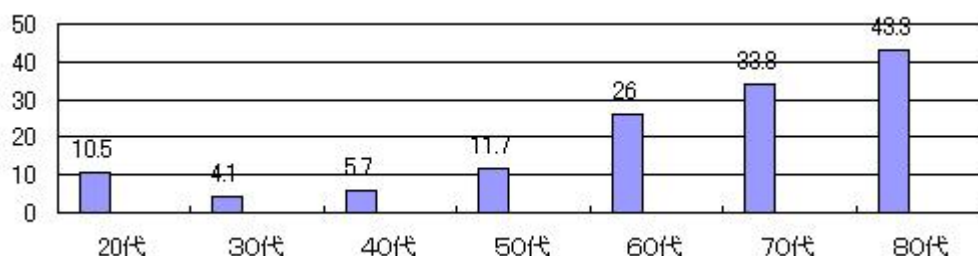
実施 2005年 8月 集約 2005年11月

### 1. 男女年齢別回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	8	16	32	47	47	57	14	221
女	30	205	231	200	153	73	16	908
計	38	221	263	247	200	130	30	1129

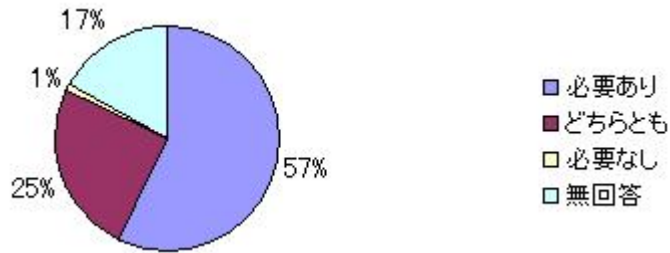
※ 佐鳴台地区全体の22%の回収率でした。

### 2. 年齢別一人暮らしの率



※ 一人暮らしの世帯は、全体の14.7%でした。他の世帯は、夫婦二人、夫婦と子ども、夫婦と親など複数家族の世帯でした。

### 3. 地区にサービスボランティアは必要と思いますか。



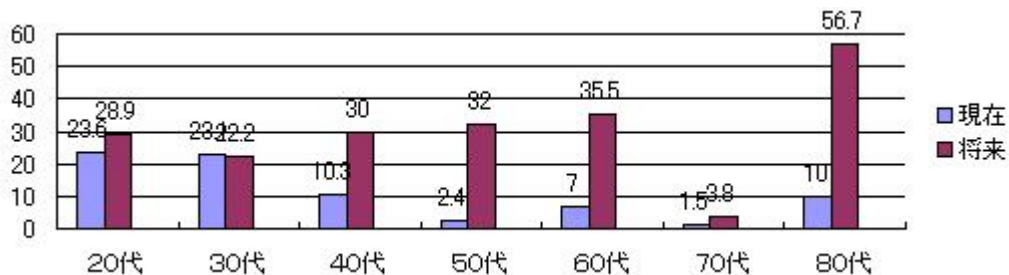
※佐鳴台地区社協の活動への期待が込められてか、「必要あり」と考えている人が半数以上ありました。また、半数近くの方がはっきりしていないのは、地区の社協の活動に起因があると考えられます。

### 4. 地域にサービスボランティアが発足したら、どれを希望しますか。



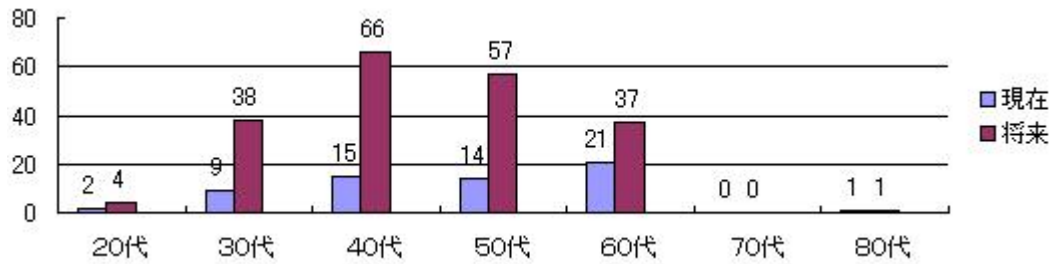
※現在サービスを受けたいと思っている人が10%、10人に1人はサービスがあればそれを受けたいことを望んでいることとなります。将来サービスを受けたいと思っている人が25%、4人に1人は将来サービスがあれば受けたいと望んでいることとなります。これとは逆に、現在ボランティアとして参加できる人が、6%、17人に1人は、ボランティア活動に参加できると言っています。また、将来はボランティアに参加できる人が18%います。おおむね5人に1人は参加できるということとなります。年齢別については、5及び6を参照。

### 5. 前項のサービスを受けたい年齢別希望率



※現在サービスを受けたいと望んでいる人を年齢別に見ると、高齢者よりも、20代、30代の子育て世代にサービスを受けたい傾向が見られます。将来のこととなりますと、年齢が高くなるにつれ必要度は上がっています。しかし、70代だけは、なぜかサービスの必要度が現在も、将来もありません。この年齢層は、ちょうど戦前、戦中、戦後の厳しい時代を生きてきた昭和一桁生まれに当たります。下表を見ると、サービスも受けない代わりに、サービスもしないという一面も見られます。

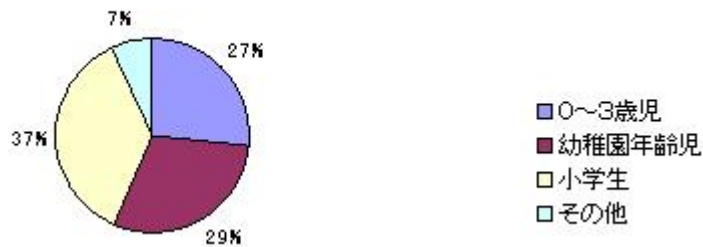
## 6. 4の項のボランティアに参加できる現在または将来人数



※現在ボランティアとして活動に参加できる人は、30代、40代、50代、60代に15人前後見られます。将来的に参加できる人は、40代、50代を中心にして200人ほど数えられます。

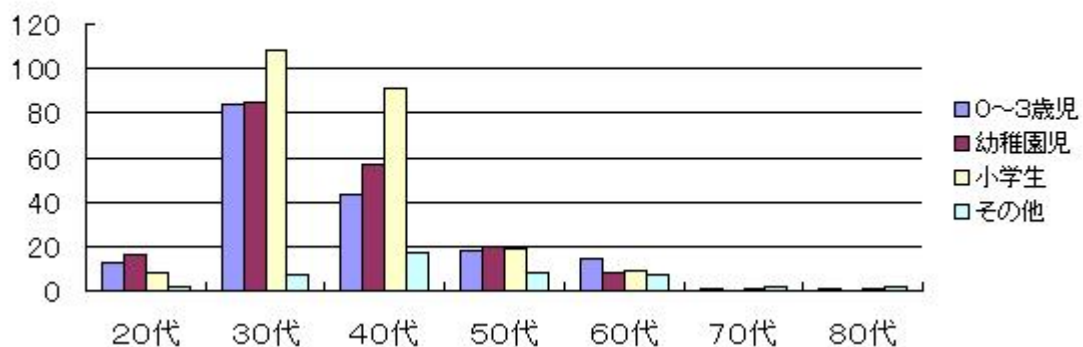
## 7. 子育て支援について

### (1) サービスを受けたい子どもの年齢層



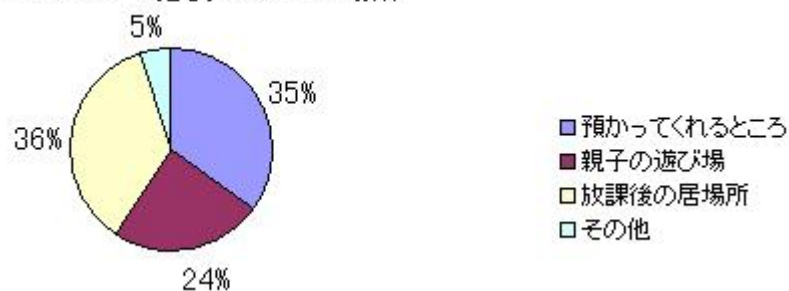
※ 0歳児から3歳児、幼稚園年齢児、小学生と年齢が上ると子育て支援必要度も上がっています。

### (2) 親の年齢別子育て支援の希望に人数



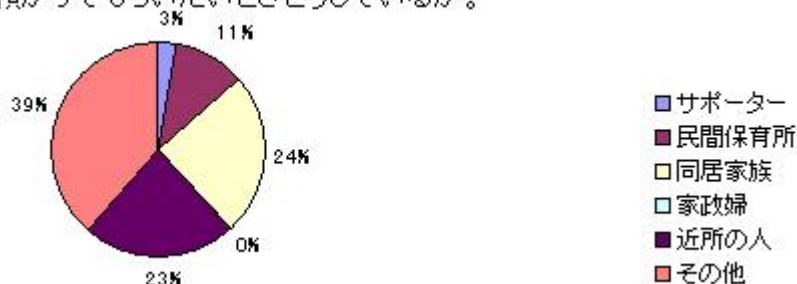
※ 30代、40代の親が、子育て支援を望んでいます。特に小学生に対してが目立つ。

### (3) 親が子どもにとって必要としている場所



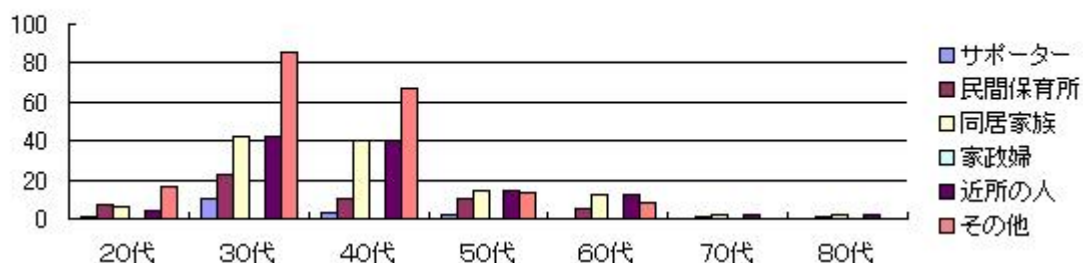
※ 子どもが安心して過ごせる場所を求めています。

(4) 子どもを預かってもらいたいときどうしているか。



※ 子どもを預かってもらいたいとき、サポーターや保育所へお願いしている人は14%、家族や近所の人に見てもらっている人はほぼ半数、その他には、子どもだけで留守番が多く、親戚に預ける、友達に預けるもありました。家政婦に頼むは、0%でした。

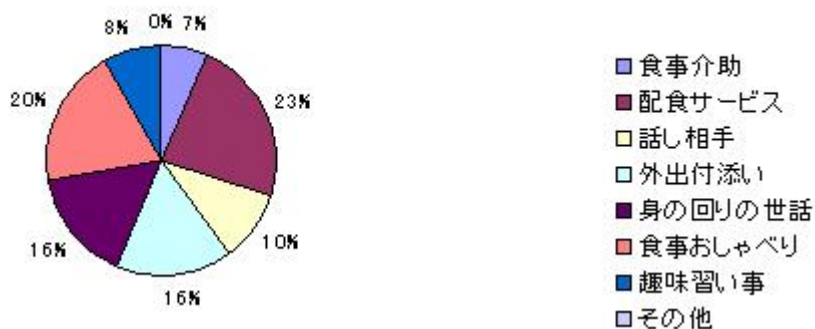
(5) 前項を年齢別に見た人数



※ (2)同様、30代、40代の子育て世帯に集中しています。高齢者の場合は、孫と考えられます。

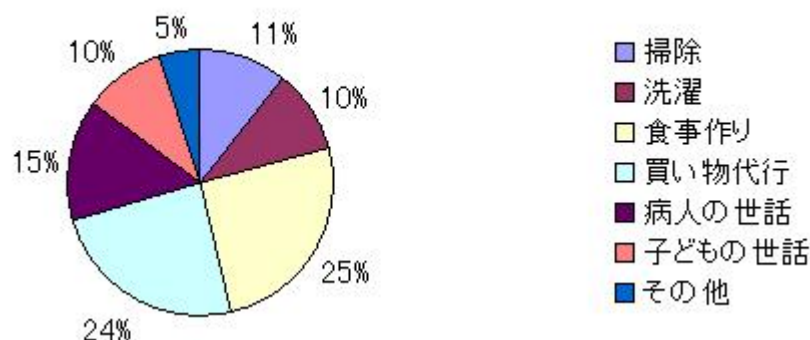
## 8. 高齢者支援について

(1) 高齢者や病人にとって必要なサービスはどんなものですか。



※ 配食サービスが必要と考えている人が23%で、次いで、食事とおしゃべりが20%、食事介助7%……食べることへの不安が大きいことがわかります。3番目が、外出付き添いの16%と身の回りの世話の16%、話し相手が5番目で10%、趣味習い事が8%となっています。その他はありませんでした。高齢者にとって食べることと人と話をすることが大切であることがわかります。よく「年をとったら、体を常に動かすこと。外に出て3人以上の他人と話すこと。体の入り口と出口を大切にすること。また、素直になること。」と聞かされていますが、アンケート結果にもこのことがよく出ています。

(2) 日常家事をしている人が急にできなくなったときに必要なサービスはなんですか。



※ 高齢者にとって必要なサービスは、食事づくり、買い物、病人の世話、掃除、洗濯、子ども（孫）の世話の順になっています。

## 地区社協への要望・意見のまとめ

地区社協と係わり合いのないものは、各自治会長さんへ回しました。

### <20代女性>

- \* 高齢者と子どもとの交流が必要。

### <30代女性>

- \* ボランティアが福祉という名の下の犠牲にならないよう配慮が必要。
- \* 地域内での助け合いだからこそ個々の家庭の内情（個人情報）は、守られるべきだ。（コンプライアンスに署名してもらうなどの対処が必要。）
- \* 子どもとおじいちゃん・おばあちゃんと交流できるといい。
- \* 安心してサービスを依頼できるような社会になってほしい。
- \* 学童保育の場所が公民館だけでは足りない。また、5、6年生くらいまでにしてほしい。
- \* 緊急の場合、子どもを預かってくれるサービスが待たれる。
- \* 子どもの世話、食事の世話、掃除、子どもの心のケアをしてほしい。（低料金で、手続きが簡単であること。）
- \* 自立した生活を過ごすための助け合いサービスが必要。（高齢者に手軽な健康づくり教室的なことができるといい。）
- \* 休日の学校を開放して、未就学児や高齢者の集まる場所としたい。（中高生のボランティアで遊んだり、サークル活動をする。）
- \* 介護される側だけでなく、介護する側のメンタルケアを考えてほしい。
- \* ボランティアは大切ですが、まずは、自分の親や祖父母の面倒をみることです。もっとも身寄りのない方には、手厚く支援すべきです。また、サービスやニーズにとらわれない「ご近所づきあい」を大切にしたいです。

### <40代男性>

- \* 助け合いサービスのことがよくわからない。

### <40代女性>

- \* サービスのメリット、デメリットを詳しく知りたい。

- \* 老いた両親の掃除, 食事, 話し相手などのサービスがあれば助かる.
- \* 他人に頼むことに負い目を感じず。また, これを非難する人もいる。
- \* 公民館での介護に関する講演, 教室, ボランティア講座等にもっと力を入れてほしい。
- \* 週1回でも配食サービスがあればうれしい。
- \* 安全で, 安心している場所があるといい。
- \* 異世代が交流できる所や時間があるといい。
- \* サービスは, 押しつけがましくなく, 誠意をもってやってほしい。
- \* ボランティア活動中の事故やトラブルのことも考慮に入れてほしい。
- \* 今後もお年寄りが楽しめる行事をお願いします。
- \* 外国人との交流会を開いてほしい。
- \* 児童館がないため, ジャスコに入り浸っている。
- \* 公的サービスの手続きに空白期間があるため, 急なとき, 地域で助けてくれるといい。
- \* 高齢者のために道路で『介助が必要』など示すカードを配布してほしい。
- \* 学童保育のような場所がほしい。

### <50代男性>

- \* 公民館にも「心配事相談日」を設けてほしい。
- \* 専門サービス業者との線引きは何をもってするか。リスク面をクリアしないとイケない。
- \* 「良かれと思って」したことが、それで済まされないことがある。
- \* 落語の「長屋の近所づきあい」の話のように昔の自然な人間関係が取り戻せるといい。

### <50代女性>

- \* 地域の中でいつでも立ち寄れる場所がほしい。
- \* 高齢者同士で精神的な支えになり, 助け合いができるといい。
- \* 身近に相談できる場所がほしい。
- \* 車社会で, 足のない者は, 病院通いも大変。
- \* ひとり暮らしの方へのすべてのボランティア・ネット・ワークの充実を。
- \* 信頼関係が築かれた上での助け合いサービスだと思うので, サービスを望んでいいものかどうかわからない。
- \* 社会福祉協議会がどんな活動をしてきたか不明。守秘義務を守らない人がいないとも限らない。
- \* ひとり暮らしになるといろいろなサービスが必要になる場合もある。
- \* 高齢者の中で特技のある方は, 子どもにその技能を伝えてほしい。
- \* 訪問販売, 電話勧誘などのトラブルについて相談窓口がほしい。
- \* 助け合いは必要だと思う。
- \* 介護認定に時間がかかる。
- \* 助け合いも必要だが, プライバシーの問題もある。
- \* 自分の母親は, 老後楽しむことなく他界したので, いつか自分がボランティアとして活動したい。
- \* 地域助け合いサービスは, サービスする人, される人が自然な気持ちで受け入れられるようなサービスであってほしい。

### <60代男性>

- \* 現在はいいが, 将来病気になった場合, 病院通いや家事が心配。

- \* 高齢者に対する助け合いは必要だが、当人のプライバシーの守られるか心配。
- \* 思いやりや感情について対応を考えてほしい。
- \* 福祉活動は、日常の継続と多くの協力者がないと成果は得られない。
- \* 花見会のような単発的な行事に多くの手間と費用をかけず、日常的な計画を立てるべきだ。
- \* アンケートの主旨が理解できない。自分のことは、自分で対処するのは当然である。他人を頼るな。
- \* 具体的な活動計画が必要だ。
- \* 子どものことについては、子どもらの親に集ってもらい、意見や要望を直接聞くべきだ。
- \* 福祉サービスよりも街の美化の方が大切である。
- \* 地域の実態を把握し、中・長期的明確な達成目標を設定し、これを実現するための人的な充実が欠かせない。
- \* 現在の地区社協の活動は、花見会と講演会である。地域の実態を配慮した内容の深いものになってほしい。
- \* ボランティア・グループによるきめ細かい多様な活動を目指したグループづくりとネットワークの構築が必要。地区社協内の役割分担を明確にし、活動可能なメニューを作り、対象者に配布する。(プライバシーの尊重)
- \* ボランティアがやりがいをもって参加、活動できること。また、発展的に継続できる活動。
- \* サービスは、受ける人に喜ばれ、待ち望むものでありたい。また、より高度なボランティアの確保も必要になるから、ボランティア希望者に対する研修の機会も多くなしないとないと思う。

### <60代女性>

- \* 近所の人たちとのふれあいがなく、顔も知らない、声もかけたこともない。高齢者になってボランティアのお世話になる一案だが、それ以前に近所との付き合いが大切。また、佐鳴台会館を利用して、おしゃべり会やお茶会ができるといい。
- \* サービスは受けたいが、プライバシーが守られるか不安。また、大きな壁でもある。
- \* ボランティアに参加できる年齢は？また、その参加の仕方は？
- \* 簡単に、気軽にボランティアに申し込める情報がほしい。
- \* 高齢者が気楽に集まれる場所があり、専門家の話が自由に聞けるといい。
- \* 趣味、習い事などお互いに教えあったら？
- \* 自由に参加できる楽しい場所がほしい。
- \* サービスネットワークができるといい。
- \* 地区社協が地元で根付くことを期待している。
- \* 2〜3名のお助け隊とか便利屋さんがあったらと思う。
- \* ひとり住まいなので、防犯のこと、病気になったときのことが心配。
- \* 地域の中の信頼関係が成り立たないと、福祉関係は難しい。
- \* みんなで仲良く楽しむことができれば充実した人生が送れると思う。
- \* ひとり暮らしで、その上、からだの具合が悪いので病院へも行かなければなりません。何もかも人様と同じようには行きませんが、頑張ってきました。お金で解決できることは知っていますが、年金だけでは大変です。

### <70代>

- \* 現在、夫婦二人で助け合っています。病気その他で迷惑をかけることがあるかもしれない。
- \* 夫婦二人で近所と日頃から理解し合える仕組みを持ちたい。
- \* 寝たきりになったときのことは考えたくない。
- \* 電動車椅子の貸与(無料または低料金)。
- \* ひとり暮らしの要介護者の緊急連絡の方法の確立。
- \* 高齢者を定期的に訪問する。
- \* 水道、電気の未使用が続いた場合、自動的に連絡がとれるシステムづくり。
- \* 今は健康体であるが、将来、食事に関することが難関でしょうか。